ふかまちのまど

第一八一号　〇九年六月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡先　☎六三―三八八二

町内会連合会活動報告

会計監査の選任について

町内会連合会
会長　中村　純

新年度の役員のうち会計監査が未定となっておりましたが、この度次の通り選任されましたのでよろしくお願いします。

会計監査　岡本　義弘
〃　藤本　政彦　▲▲

深町町民会館だより

町民会館館長就任のご挨拶

町民会館館長　中村　純

町民会館もかなり古くなり、少しずつ修理が必要な時期になりました。まず雑巾をぶらさげたりようなカーテン、避難口誘導灯、天井扇風機の器具破損、導灯これらを行政にお願いするため、従前は館長と連合会長が別々になっておりましたので、これを一つにして強力に行政に働きかけたいと思います。

以上の点から館長となりましたので、一所懸命がんばりますので皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、平成二十一年度の町民会館運営委員会を、四月二十六日（日）に開催しました。

◇平成二十年度会館使用状況
総件数　一一七件
総人数　一六二五名

◇平成二十年度会計報告

平成２０年度深町町民会館会計収支決算書

収入		支出	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
繰越金	425,383	電気代	70,579
委託金	227,695	ガス代	23,750
会場使用料	2,000	水道代	30,108
利子	438	灯油代	1,134
		浄化槽管理費	104,255
		消耗品費	3,002
		営繕費	118,660
		予備費	2,100
		次年度繰越金	301,928
合計	655,516	合計	655,516

※会館使用申し込みは、管理人松秋一成（67―7943）へお願いします。▲▲

平成二十一年度町内各種団体等代表者は次の方々です

町内会連合会長　中村　純
中組町内会長　麓　正
下組町内会長　寺田　弘徳
町民会館長　中村　純
農業振興協議会長　石井　徹夫
水利組合長　村上　静治
消防団深町分団長　為清　敏夫
尚寿会長　幸谷　満
はなみずきの会深町支部長　林　孝子
壮青会長　天木　一恵
子ども会長　松本　雅之
深小学校長　山本　惠司
深PTA会長　河原　秀樹
如水館中・高校長　高橋　秀幸
サンライズ大池施設長　吉本　俊一
ピッコロ施設長　永井　宣一
※順不同・敬称略　▲▲

歩く会にご参加を

健康づくり推進員
高崎　修

行先　今高野山（世羅町）
期日　六月二十日（土）
行程
八:〇〇　上組公民館出発（車）
九:〇〇　今高野山到着登山（お城）
一〇:三〇～一一:〇〇　今高野参拝
一二:〇〇頃　上組公民館帰着（車）

深小だより

素直な心を大切に育てたい

深小学校教諭　武田純子

この四月に中之町小学校から赴任してきました武田純子です。どうぞよろしくお願い致します。

深小学校に初めて来たとき、初めてにもかかわらず、前任校ではいつも深小の前を通って通勤していましたので、何か懐かしい雰囲気を感じました。子どもたちも、朝登校班で元気に並んできているのをいつもほほえましく見ていました。夏は汗をかきながら元気に走ってきている様子、秋は小さい子が泣いているのをみんなで慰めている様子、冬は寒さを吹き飛ばすくらいに頬を赤くして笑顔で来ている様子：などを見てきました。こんな子どもたちとこれからいっしょに過ごせることをとても嬉しく思っています。

今は二年生の担任ですが、委員会や係活動などいろいろな学年の子どもたちと一緒に活動することが多いです。子どもたちと関わって一番思うのは、どの子も表情もとても屈託がなく生き生きしていることです。この素直な心をこれから大切に育てていきたいと思っています。▲▲

第二中学校だより

響き合う学校文化の創造

第二中学校校長　竹田敏彦

創立六十三年目、新校舎になって七年目を迎える三原市立第二中学校の校門をくぐると、真正面に立派な石碑がすぐ目に入ります。その石碑には**校訓**の**「響き合う二中っ子」**の文字が刻まれており、輝いて見えます。

本校に赴任したばかりの私は、この石碑の前にしばし立ちつくしました。誠に立派な校訓です。

この校訓にどのように迫り、どのように近づくことができるのか。このことが二中で学ぶ者、二中に勤める者の使命であると思っています。私は、校訓に迫るため、次のような教育理念、経営理念のもとに特色ある学校づくり・地域に信頼される学校づくりを推進します。

☆**知育（確かな学力）**
○知識・技能の「習得・活用・探究」の教育の推進
○ＰＩＳＡ型読解力―論理力（論理的読解力・論理的思考力・論理的判断力・論理的表現力）の育成
○言語活動の充実―言語技術の活用による相互作用（対話）の成立
○各教科等横断的・総合的な学習の展開―総合単元的な道徳学習の充実
○授業研究の推進―授業力の向上
○指導・達成目標の明確化と個への対応の確保
○すべての単元における補充的・発展的な学習の充実
○わかる授業の創造
○特別支援教育の推進

☆**徳育（豊かな心）**
○道徳性・感性・社会性・コミュニケーション能力・人間関係形成能力の育成
○キャリア教育の推進
○生徒指導の充実
○教育相談の充実
○生活三訓（挨拶・時間厳守・整理整頓）の徹底
○道徳教育の充実―体験の言語化、体験の経験化
○表現力（音声表現・文字表現・身体表現）の育成
○道徳性を意図した相互作用（対話）の充実―道徳的思考の深化

☆**体育（たくましい体力と健康）**
○意欲・気力・体力の鍛練
○耐性の育成
○部活動の充実―切磋琢磨
○食教育の推進―朝食を大切にする啓発

☆**情報発信―地域に信頼される学校づくり（広報活動の充実）**
○家庭・地域との連携―小中高大連携、地域人材の活用
○学校からの積極的な発信―授業公開・研究公開、学校だより・ホームページの充実
○説明責任の貫徹―学校関係者評価（外部評価）の充実

深町の皆様方のいっそうのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。▲▲

謹んでお悔やみ申し上げます

原田　章八　様　八二歳
（中組　西野）　五月六日

深町各種団体六月行事予定

◆町内会連合会
▼市民ゲートボール大会二一日
◆小学校・幼稚園
▼歯磨き指導㊍　四日
▼交通安全教室・ＰＴＡ役員会・諸雑費集金㊍　五日
▼体重測定㊍　八日
▼基礎基本学力状況調査・保健指導㊍　九日
▼二中保育体験学習㊍　十日
▼広響鑑賞会　十一日
▼耳鼻科検診　十六日
▼参観日・救急法・試食会　二二日
▼ぴよぴよハウス㊍　二四日
▼テーマタイム・お楽しみ会㊍　二六日
▼保健実習　三十日
◆如水館中学・高校
▼振興会総会　十二日
▼面接週間　十五～十九日
▼合唱コンクール　二十日
▼水明祭　二一日
▼期末試験　三十日

展望席

「ふかまちのまど」が平成六年五月に第一号が発刊され、いつの間にか十五年が過ぎました。

私が平成十四年九月に町内会連合会会長の梶谷和伸さんの依頼により、初代編集長の平岡功一さんから「ふかまちのまど」の編集を引き継いだ時は、どうせ三日坊主に終わるものと思っていました。ところが、三日坊主を繰り返し繰り返して更新している内に、間もなく丸七年を迎えようとしています。

「ふかまちのまど」は、平成十八年十二月、如水館中学・高校の全面的なご援助によりホームページを開設しました。また、三原市中央公民館でも毎月、同館内に掲示して頂いています。

このように休まず継続して発行できた発展してきたのも、町内の皆様、関係行政機関、各種団体、編集スタッフの皆様等の温かいご支援や励ましで私の背中を押して頂いたお陰です。

毎月、「無事発行できるだろうか」という不安はありますが、幸せなことに、町内の皆様や各方面の方から快く、また積極的に原稿を寄せて頂き、月末には無事完成し、ホッとしながら有り難く感謝しております。

長年編集を続けておりますと、それなりに広報紙としてのひとつの形ができたような気もしますが、多分に編集はマンネリ化に陥っているものと思います。これからより斬新で充実した「ふかまちのまど」を発行していくためには、早い時期に次の方にバトンタッチするのが肝要と思いますし、そのように念じているところです。

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

パキスタン・カラチに暮らす

第四回「パキスタンのカレー②」

中組　福島　健作
（尾道市立因北小教諭）

さて、前号でお伝えしたパキスタンのカレーですが、今回はカレーショップに入ってみましょう。

さすがカレーが常食の国パキスタン、街のあちこちにカレーショップがあります。ショップの近くには必ずカレーの材料になる野菜や鶏肉やヤギの肉、カレーの隠し味になるヨーグルトを売る店が並んでいます。鶏肉屋には表に鶏が入った籠があり、注文するとその場でさばきます。ですから、肉を手にしたときはまだほんのり温かみが残っています。日本ではもう見ることができなくなった鶏の解体、生きの良い肉はフレッシュミートと呼ばれ、カレーの中で煮込んでも歯ごたえがあります。

カラチのナンショップ

そして忘れてはいけないのがカレーをつけて食べるナン。ナンを焼く店もカレーショップの近くにあります。

ナンは小麦粉に塩とイーストを混ぜたシンプルな生地をこね、壷の形をした釜「タンドリー」の内側に貼り付けて、焦げ目が付くまで焼きます。カレーショップの辺りでは、カレーのスパイシーな香りと、ナンを焼く香ばしい香りで満たされます。

美味しそうな香りに誘われて、カレーショップに入り、チキンカレーを注文します。

一食の内容は、大皿いっぱいのカレーと直径三十センチ程のナン二枚。日本円で約百二十円です。そしてカレーのお供には、炭酸飲料。日本ではあまり飲まなかった炭酸飲料ですが、四十度を越す気温と、火が出るほど辛いカレーにはこれがとても合うのです。

大鍋から皿に注がれたチキンカレーと、隣のナンショップで焼かれたナンと飲み物が運ばれてきました。

パキスタンを含むインド文化圏では、右手でナンをちぎり、カレーをすくって口に運びます。両手を使って食べる私達外国人は、まだまだ未熟者です。

汗をかきながら食べ、最後に炭酸飲料を飲む爽快感は、熱い国ならではの食文化であることを実感する瞬間です。

ただ一つの難点は、外国人観光客が極端に少ないパキスタンでは、店を出るまで周囲の人たち全員の注目の的になることです。

次号は、「パキスタンの交通事情」です。（次号へ続く）▲▲

深小ＰＴＡだより

「子ども達の安全」について

深小ＰＴＡ会長　河原秀樹

初夏の候、町内の皆様には、日頃よりＰＴＡ活動にご理解とご支援を頂きましてありがとうございます。

昨年に引き続きまして、今年度もＰＴＡ会長を務めさせていただくことになりました。おお願いいたします。

最近子ども達が一年間過ごす学校の近くで、遊び頃の子どもたちが、見かけることが多くなりました。

事件・事故に遭うニュースを聞くたびに、幸せな日々を過ごしている子どもたちの姿を見て、大人の責任を感じます。

地域の皆様、地域の皆様方、町内の皆様、地域の皆様方、町内の皆様方、地域の皆様方、町内の皆様方、地域の皆様方、町内の皆様方